


個別支援と地域づくり

～身近な地域のつながり・支え合い活動～



プログラムの流れ

演習1 近隣助け合い体験ゲーム(30分)

講義1 助け合いのあるまちを目指して(5分)

演習2 Aさんの生活と住むまちを考える(80分)

講義2 春日井市内で実践している
助け合い活動(10分)

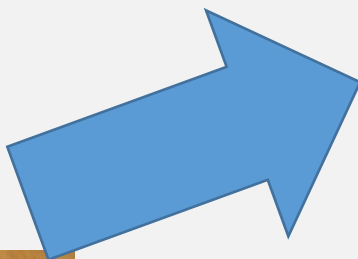
アイスブレイク




～近隣助け合い体験ゲーム～

手順0

カード準備



- ・地域で話題になりがちな
困りごとが記載されています。



手順 1 カード選び

- ・ 一人3枚ずつカードを選んでください。
- ・ 助けて欲しいと思うことを選んでください。
- ・ 普段支援している利用者さんになりきって選んでもらってもOK。



手順2 助け合いスタート

- 一人ずつ自己紹介をしながらカードの
困り事を助けてくれる人探してください。
- 助けてくれる人が見つかったら
カードを渡してください。
- 3枚全部カードが誰かにわたるまで
交渉と会話を楽しみましょう！



手順3

振り返し

- 自分のカードは全部渡せましたか？
- 受け取ったカードは
お手元に何枚ありますか？
- 最後まで引き取り手のなかった
カードはありますか？

助けあいのあるまちを
めざして・・・



地域福祉コーディネーターって 何をする人？



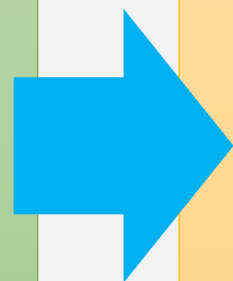
つながり作り＝地域での支えあい
をお手伝いします！



どうして地域のつながりが大切なの？

福祉サービスが
充実するまで

本人と支え合う
多様なつながりが
あった



福祉サービスが
充実してから

気付けば
「制度・サービス」
は整ったけれど
支え合いが
見えにくくなった



複雑化・複合化する地域課題

少子
高齡社会

ダブル
ケア

無縁社会

2025年
問題

8050問題



演習 2

【事例検討】

Aさんの生活と住むまちを考える



役割決め

< 5分程度 >

- ・ 司会、書記、発表者決定



付箋に課題を記入してください。

(個人ワーク5分)(グループ共有10分)

(例)
日中の活動
の場がない。

(例)
ゴミ出し日
を間違える。

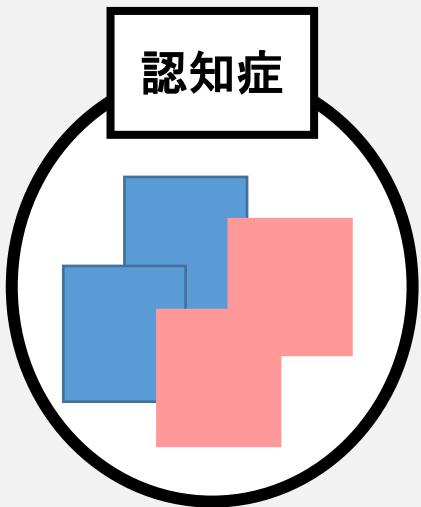
※Aさんの課題は青色に、母親の課題は赤色の付箋に記入

※課題1つに対して付箋を1枚使ってください。

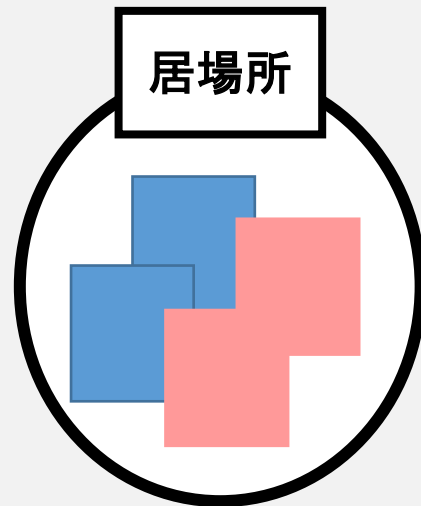
カテゴリー分けのイメージ

<5分程度>

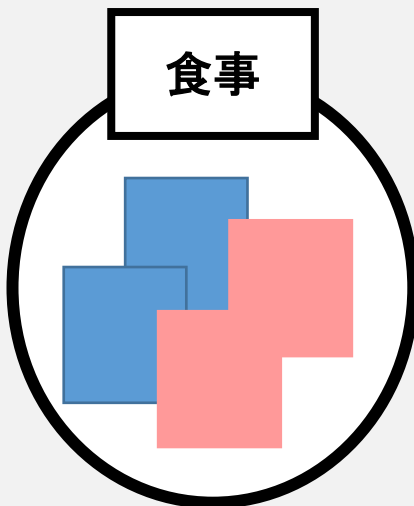
認知症



居場所

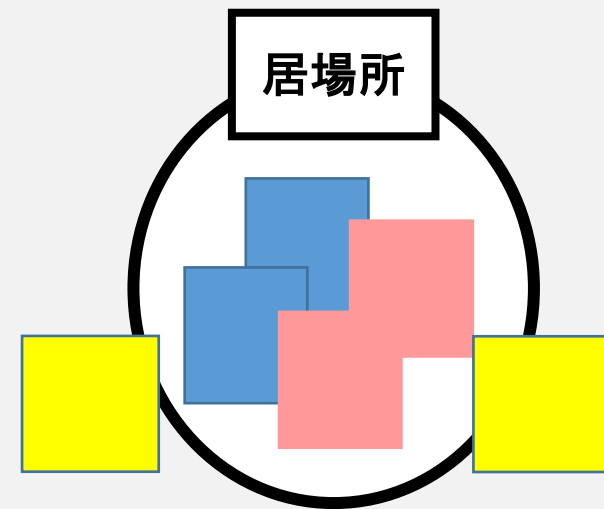
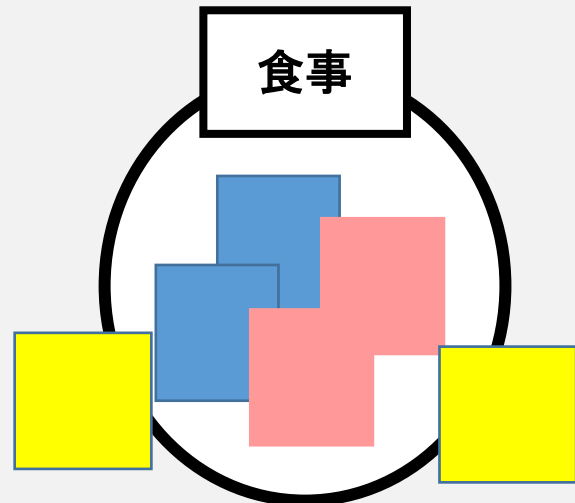
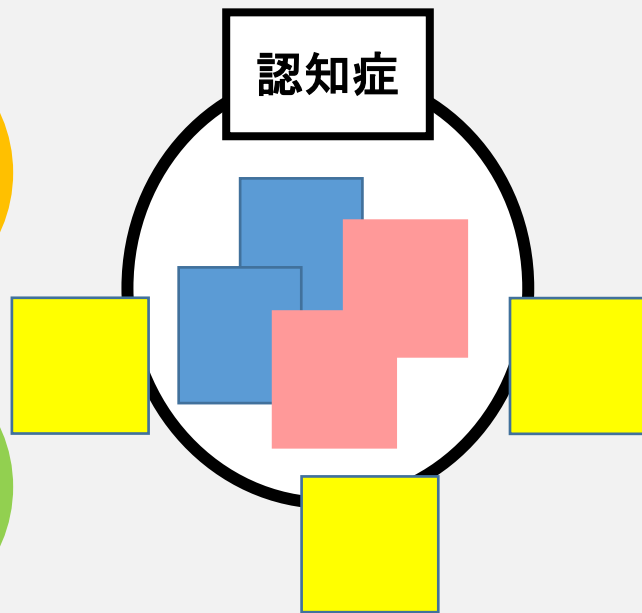


食事



対応策の検討

(個人ワーク10分)(グループ共有10分)



1. 制度や地域資源を活用して
対応策を考ましよう！
2. 新しい取組みを考えてみましょう。

発表準備

< 10分程度 >

グループNo

取組み名

グループで選んだ取組み名を記入してください。

内容 (開催頻度、開催時間、場所、対象、主催者、参加料や財源など具体的に！)


取組の目的や内容を記載してください。

参加メンバー

役割

参加メンバーや役割について記載してください。

空きスペースは自由に使ってください。



グループ発表

- 生活課題や新しく創設した取組みについて発表してください。
- 発表時間 3 分程度

市内で行われている 助け合い活動



運動系サロン



ラジオ体操

グリーンベルトを活用した
ウォーキングクラブ



介護予防体操



見守り活動

見守り家庭訪問

お揃いベストで
地域をパトロール



世代間交流



高齢者の
得意



子どもの
パワー



フードパントリー



**フードロス
対策**



**生活困窮者
支援**